

ニュースレター 2019年3月

ICANN GNSO ビジネス部会



神戸へ、そして ICANN64 へようこそ！

インターネットビジネスの成長とビジネスユーザーの利益を支える ICANN ビジネス部会 (Business Constituency, BC) を代表し、皆様を歓迎します。

2019年に入り、私たちは EU 一般保護規則 (GDPR) およびその WHOIS への影響について、引き続きビジネスの観点で集中的に議論しています。BC は、関心を持つ第三者、セキュリティの研究者および企業が WHOIS 登録データにアクセスする方法として考えられる「認定モデル」の検討に、引き続き注力しています。そのため、BC 内の電話会議を毎週開催し、「優先ポリシー策定プロセス (EPDP)」についてディスカッションを行っています。EPDP は、今後数ヶ月以内に WHOIS の長期的解決策を策定するコミュニティの取り組みです。もちろん、これだけが神戸で議論されるトピックではありません。その他の重要な課題と優先事項は次の通りです：「次回新 gTLD 募集の手順」、「治療的 (事後的) 権利保護」および ICANN の 2020 年度運営計画・予算。

ICANN64 は 2019 年最初の会議で、ICANN のコミュニティフォーラムとも呼ばれます。BC はこの機会を活用し、通常のパリシー作業に加えて日本の経済界へのアウトリーチおよび関与に焦点を当てます。具体的には、3月8日 (金) に東京でビジネスイベントを開催します。また、3月13日 (水) には日本インターネットプロバイダー協会 (JAIPA) との ISPCP イベントにおいて、スピーカーパネルを設けます。このイベントはオフサイト (ICANN 神戸会議会場近く) で開催される予定です。

BC の活動内容、企業が BC に加入するメリット、そして BC のメンバーがコミュニティに積極的に関わっている様子を知っていただくため、神戸に集うすべての企業および商用ユーザーのご参加を歓迎します。また、BC は、地理的多様性および女性の地域社会への参加促進にも尽力しています。

さらに、組織としての ICANN およびコミュニティが日々その透明性とアカウントビリティを向上させられるよう、BC は引き続き役割を果たしていきます。ビジネスに優しい世界的インターネットコミュニティの今日の成功は、マルチステークホルダーモデルによって支えられています。このモデルを強化するため、BC として引き続き支援に取り組んでいきます。そして、神戸から次の ICANN 会議開催地であるマラケシュに至るまで、世界のさまざまな地域で新たなメンバーがさらに深く BC に関与してくれるよう願っています。

Claudia Selli、BC 議長

BC の詳細については、最新の Web サイト <https://www.bizconst.org> をご覧ください。



ポリシーの視点 実業界の利益について

Steve DelBianco、ポリシー調整担当副議長



2019年の最初の数週間は、ザ・フー (The Who) の『Won't Get Fooled Again (邦題：無法の世界)』にある次の歌詞を思い起こさせるものでした：『**Meet the new boss, same as the old boss (新しいボスに会ってみな、前のボスと変わらない)**』というのも、私たちが ICANN で直面する最も困難な課題は毎年舞い戻ってくるからです。2018年の複数の課題が2019年に持ち越されるのは当然のことであり、そうした課題をめぐって我々の対極に存在する利害についても、すでに認識されています。課題には以下が含まれます：

- **EU の一般データ保護規則 (GDPR) に合わせて Whois を調整する** (BC は、ビジネスユーザーおよび登録者を混乱や詐欺から守るために、WHOIS データの正当な使用を可能にしつつ GDPR を順守できるアプローチを提唱しています。この点では、ヨーロッパやその他の地域における新法制定で広がるプライバシー保護の潮流に対し、私たちは逆らって泳いでいるということもできます。BC は、ワーキンググループでの活動および実質的な意見の表明を通じ、この議論に取り組み続けています。優先ポリシー策定プロセス (EPDP) について、BC では Margie Milam 氏 (Facebook)

と Mark Svancarek 氏 (Microsoft) が主導しています。神戸でさらに議論される予定です。

- **トップレベルドメイン (TLD) の拡張**。世界では前回の拡張で創設された新 TLD についてほとんど認識されていませんが、ICANN ではさらに次の TLD 拡張を計画しています。新 TLD の立ち上げを推し進めている人々は、地理的に重要度の高い単語を規制しようとする政府と衝突しています。BC は、複数のレビュー活動や次回新 TLD 募集の手続きを策定しているワーキンググループで、ビジネス上の一般的利益を引き続き提唱していく必要があります。

- **DNS の安全性、安定性および耐性 / 復旧力 (SSR)**。SSR レビューは、ICANN 付属定款で規定された他の三つの特定レビューと同様に、コミュニティメンバーが主導しています。BC のメンバーである Denise Michel 氏 (Facebook) と Scott McCormick 氏 (HackerOne) が、SSR レビューチームに参加しています。

実際に ICANN でポジティブな影響を与えていると認識できたとしても、BC は実業界の利益を主張するたゆまぬ努力を日々重ねていく必要があります。

BC は、2017年には38件、そして2018年には55件のコメントと声明を提出しました。私たちの知る限り、BCの55件という寄与数は、ICANNの全ステークホルダーグループグループおよび諮問委員会と比較して最多です。

1年前、BCは、メンバーによるポリシー策定への参加を深化、拡大させ、BCのポリシー立案者を増やすことに努めました。BCのメンバー増加とその積極的活動により、それらのゴールは2018年に達成されました。この年、2017年の31人を上回る34人のBCメンバーがポリシーの立案および編集に貢献しました。さらに言うと、BCの34人の貢献者のうち10人が初めての参加者でした。

ビジネス界からの新たな参加者が ICANN コミュニティで影響力ある一員となれるよう、BCは強力に支援しています。同時に ICANN としても、ビジネスの視点を取り入れるため、ワーキンググループおよびレビューチームへの BC メンバーの参加を頼りにしています。

ここに BC の真価があります。すなわち、ビジネスユーザーおよびドメイン名登録者のフォーカスを ICANN のポリシー検討に加えていくことです。レジストリ、レジストラ、政府、プライバシー擁護団体および ICANN との間でバランスをとるため、ビジネスの視点は ICANN コミュニティにおいて必要不可欠な要素です。

こうしたビジネスの側に立った観点についてご賛同いただける企業の皆様には、神戸会議への参加および ICANN ビジネス部会への加入をご検討いただければ幸いです。



Steve DelBianco
ポリシー調整担当
副議長

BC アウトリーチニュース

2018年アフリカ ICT アライアンスサミット / AGM (年次総会)、ナイロビ

Adetola Sogbesan、BC メンバー / アフリカ ICT アライアンス

メンバーシップの質的充実を目的として、BC はかねてより、あらゆる ICT ビジネスの会合を活用したアウトリーチ活動を展開しています。毎年開催されるアフリカ ICT アライアンスサミット / AGM はそうした会合のひとつです。最近アフリカから BC に加入する中小企業が増えていることから、同サミットでのアウトリーチは成果を生んでいると考えられます。

2018年 AfICTA サミットは10月8日～9日にケニアのナイロビで開催されました。テーマは『**Making ICT Central to the Big 4 Agenda in Africa (ICT をアフリカのビッグ4アジェンダの中心にする)**』です(詳細についてはこちらをご覧ください：<https://aficta.africa/summit2018>)。BC アウトリーチ委員としてサミットでアウトリーチを実施でき、非常に光栄でした。<https://aficta.africa/summit2018>

ナイロビでのアウトリーチ活動

サミットに先立ち、私は VC Finance の Jimson Olufuye 氏から BC ファクトシートとロールアップバナーを受け取っていました。会場では二人でそれらの資料を使い、BC に加入して下さるかもしれない企業の皆様とディスカッションできました。

ケニアの ICANN 地域オフィスに勤務する ICANN アフリカステークホルダーエンゲージメントマネージャー・Bob Ocheng 氏とも話し合いました。ナイロビオフィスでのロールアップバナーおよび BC ファクトシートの掲示について、彼は快諾してくれました。また、彼が出席する主要な ICT フォーラムでもバナーを掲示してくれることになりました。AfICTA サミットの主催者 (Computer Society of Kenya) とも同様の合意を結び、オフィスや主要な ICT イベントで掲示する BC ファクトシートおよびロールアップバナーを渡しました。

私もサミットに参加し、ひとつのトラックではパネリストを、別のトラックではモデレーターを務めました。また、複数の参加者と交流するとともに、ICANN と BC について説明するために登壇もしました。



BC のロールアップバナーが二つの戦略的な場所に適切に配置されていることも確認しました。一つは会場の正面玄関で、そこでは企業からの参加者と交流するためのデスクを提供していただきました。

多種多様な専門家および企業のパネリストを集めてくれた AfICTA に敬意を表します。BC から は Marilyn Cade 氏、Claudia Selli 氏および Andrew Mack 氏がリモート参加し、懸念されるビジネス上の課題、特に GDPR、ドメイン名の不正使用、プライバシー、サイバーセキュリティおよびブロックチェーン技術に関して多様な観点から明快な説明を行いました。

2018年アフリカ ICT アライアンスサミットで BC の伝統が明確に説明されていることを確認でき、非常に喜ばしく思いました。また、アウトリーチの目的が達成されたことを誇りに思います。



Adetola Sogbesan
BCメンバー/アフリカICTアライアンス

マルチステークホルダーによる ICANN の組織構成



ICANN 理事会

上段（左から）：Göran Marby – 事務総長兼 CEO、Cherine Chalaby – 理事長（NomCom）、Chris Disspain – 副理事長（ccNSO）、Becky Burr（GNSO）、Ron da Silva（ASO）、Maarten Botterman（NomCom）、Sarah Deutsch（NomCom）、Avri Doria（NomCom）、Matthew Shear（GNSO）、Leon Felipe Sanchez Ambia（At-Large）

下段（左から）：Khaled Koubaa（NomCom）、Rafael Lito Ibarra（NomCom）、Danko Jevtovic（NomCom）、Tripti Sinha（NomCom）、Manal Ismail（GAC Liaison）、Nigel Roberts（ccNSO）、前村昌紀（ASO）、Merike Kao（SSAC Liaison）、Harald Alvestrand（IETF）、Kaveh Ranjbar（RSSAC Liaison）

ジェネリックドメイン名 支持組織（GNSO） （次ページ参照）

Keith Drazek（評議委員長）
Pam Little（副評議委員長）
Rafik Dammak（副評議委員長）

国コードドメイン名支持組織 （ccNSO）

Katrina Sataki（評議委員長）
Byron Holland（副評議委員長）
Debbie Monahan（副評議委員長）

アドレス支持組織（ASO）

Aftab Siddiqui（評議委員長）
Ricardo Patara（副評議委員長）
Kevin Blumberg（副評議委員長）

Empowered Community Administration

Maureen Hilyard（ALAC）
Axel Pawlik（ASO）
Stephen Deerhake（ccNSO）
Manal Ismail（GAC）
Keith Drazek（GNSO）

政府諮問委員会（GAC）

Manal Ismail –（委員長）
副委員長：
Thiago Jardim
Ghislain de Salins
Guo Feng
Pär Brumark
Chérif Diallo

セキュリティと安定性に関する 諮問委員会（SSAC）

Rod Rasmussen（委員長）
Julie Hammer（副委員長）

ルートサーバーシステム諮問委員会 （RSSAC）

Brad Verd（共同委員長）
Fred Baker（共同委員長）

At-Large 諮問委員会（ALAC）

Maureen Hilyard（委員長）
John Laprise（副委員長）
Tijani Ben Jemaa（副委員長）

技術リエゾングループ（TLG）

Christian Toche（ETSI）
Howard Benn（ETSI）
Reinhard Scholl（ITU-T）
Jie Zhang（ITU-T）
Wendy Seltzer（W3C）
Daniel Dardailler（W3C）
Warren Kumari（IAB）
Tim Wicinski（IAB）

Internet Engineering Task Force （IETF）

Jari Arkko（委員長）

2019年指名委員会

Damon Ashcraft（委員長）
Cheryl Miller（次期委員長）
Zahid Jamil（アソシエイト委員長）

オンブズマン

Herb Wayne

Customer Standing Committee 顧客（常設委員会（CSC））

Byron Holland（委員長）

GNSO のステークホルダーグループ、部会および評議委員会

GNSO 評議委員会は、GNSO のポリシー策定プロセスを管理する責任を負っています。

Contracted Party House Councilors (契約者会議を代表する GNSO 評議委員)

レジストリステークホルダーグループ

Keith Drazek (NA),
GNSO 評議委員長
Rubens Kuhl (LAC)
Maxim Alzoba (EU)

レジストラステークホルダーグループ

Pam Little (AP)、
GNSO 副評議委員長
Darcy Southwell (NA)
Michele Neylon (EU)

指名委員会に指名された GNSO 評議委員 (NCSs)

Erika Mann、NCA (EU)
Carlos Raul Gutiérrez、
NCA (LAC)
Syed Ismail Shah、
NCA (AP)

リエゾンおよび オブザーバー

Adebiyi Oladipo、
ccNSO (AF)
Cheryl Langdon-Orr、
ALAC (AAPAC)

Non-Contracted Party House Councilors (非契約者会議を代表する GNSO 評議委員)

商用ステークホルダーグループ

**ビジネスおよび
商用ユーザー**
Scott McCormick (NA)
Marie Pattullo (EU)

知的財産

Flip Petillion (EU)
Paul McGrady (NA)

インターネットサービス プロバイダーおよび接続 プロバイダー

Tony Harris (LAC)
Philippe Fouquart (EU)

非商用ステークホルダーグループ

Rafik Dammak、
GNSO 副評議委員長
(AAPAC)
Elsa Saade (NA)
Tatiana Tropina (EU)
Martin Silva Valent (LAC)
Arsene Tungali (AF)
Ayden Férdeline (EU)

Contracted Party House (契約者会議)

レジストリステークホルダーグループ

Donna Austin (議長)
Beth Bacon (副議長)
Samantha Demetriou
(管理担当副議長)
Karen Day (会計担当)
Sue Schuler (事務局)

レジストラステークホルダーグループ

Graeme Bunton (議長)
Tobais Sattler (副議長)
Kristian Ørmen (書記)
Ben Anderson
(会計担当)
Zoe Bonython (事務局)

知的財産権部会

Brian Winterfeldt
(議長)
Dean Marks (副議長)
John McElwaine
(会計担当)
Susan Payne (書記)
Brian Scarpelli
(参加コーディネーター)

Non-Contracted Party House (非契約者会議)

商用ステークホルダーグループ*

ビジネス部会

Claudia Selli (議長)
Steve DelBianco
(ポリシー調整担当副議長)
Jimson Olufuye
(財務・業務担当副議長)
CSG 代表：
Barbara Wanner

インターネットサービス プロバイダーおよび 接続プロバイダー部会

Wolf-Ulrich Knoblen (議長)
Tony Holmes (副議長)
Alain Bidron (Excomm)

非商用ステークホルダーグループ*

非商用ユーザー部会

Bruna Santos (議長)
Ines Hfaiedh (AF)
Antonella Perini (AAPAC)
Louise Marie Hurel (EU)
David Cake (LAC)
Michael Karanicolas (NA)

非営利運用関連部会

Joan Kerr、議長
Raoul Plommer、副議長
David Cake、
ポリシー委員長
Olumuyiwa Ogundele、
コミュニケーション委員長
Juan Manuel Rojas、
メンバーシップ委員長
Oreoluwa Somolu、事務局

* ここではグループの幹部は省略されています

ICANN64 神戸会議 - 2000 年以降初めてとなる日本での ICANN 会議開催

元 ICANN 理事・加藤幹之氏インタビュー

Marilyn Cade、BC アウトリーチ委員長



1997 年から 1998 年にかけて、アジア太平洋地域、ヨーロッパ、アフリカ、そしてラテンアメリカからのステークホルダーの関与が喫緊の課題でした。当時経済界では、富士通のワシントン D.C. オフィスを率いていた加藤幹之氏が、米国のみならず日本やアジアにおけるエンゲージメントの促進で指導的役割を果たしました。加藤氏は現在日本に在住し、Xinova の上級副社長・日本総代表として、新技術とビジネスモデルの創造を通じてオープンイノベーションに注力しています。

ICANN は、先日の ICANN63 バルセロナ会議で 20 周年を祝いました。加藤さんが ICANN 設立以前のプロセスに最初に関わったのはいつですか？また、それはどういう理由からですか？

私は 1989 年から富士通ワシントン D.C. オフィスに在籍し、新技術の開発と関連する政策を注視していました。1993 年に Bill Clinton が大統領に就任

した当時、米国の政権は NII (National Information Infrastructure、全米情報基盤) の整備に取り組んでいく中で、インターネットがそうした基盤になり得ると迅速に判断しました。それ以降、政権の焦点は e コマース (電子商取引) 促進と関連する法律の制定および政策の立案へと移行しました。インターネットと呼ばれるこの「新」技術と新興のデジタルエコノミーが将来の発展の鍵になると考えた私は、D.C. で政策をめぐる議論に参加するよう努めました。そして数年後には、インターネットのドメイン名と IP アドレスの技術的管理を民営化してグローバルな新組織を作る、という議論の中心に身を置いていました。

International Forum on White Paper にリージョナルな性質を持たせるのは、本当に難しかったですね。加藤さんはどのようにしてかかわったのでしょうか？

当時私は D.C. を拠点にしていたため、主に米国で開催される協議に参加していました。その一方で APAC (アジア太平洋地域) の人々とも協力し、グローバルな意見の形成を試みました。

ご存知のように、米国では、複数の主要なビジネス団体が米国内およびその他の地域の両方でエンゲージメントを主導していました。日本で企業と日本政府を関与させるための取り組みは行われていましたか？

日本では、そうしたポリシー策定の進みはもっとゆっくりしていました。しかし、米国とヨーロッパでの進展を常に注視する努力は行われていました。日本には経団連、JAIDA や JISA といった業界団体があり、米国とヨーロッパのカウンターパートとの合同会議を開催していました。経済産業省および総務省を含む

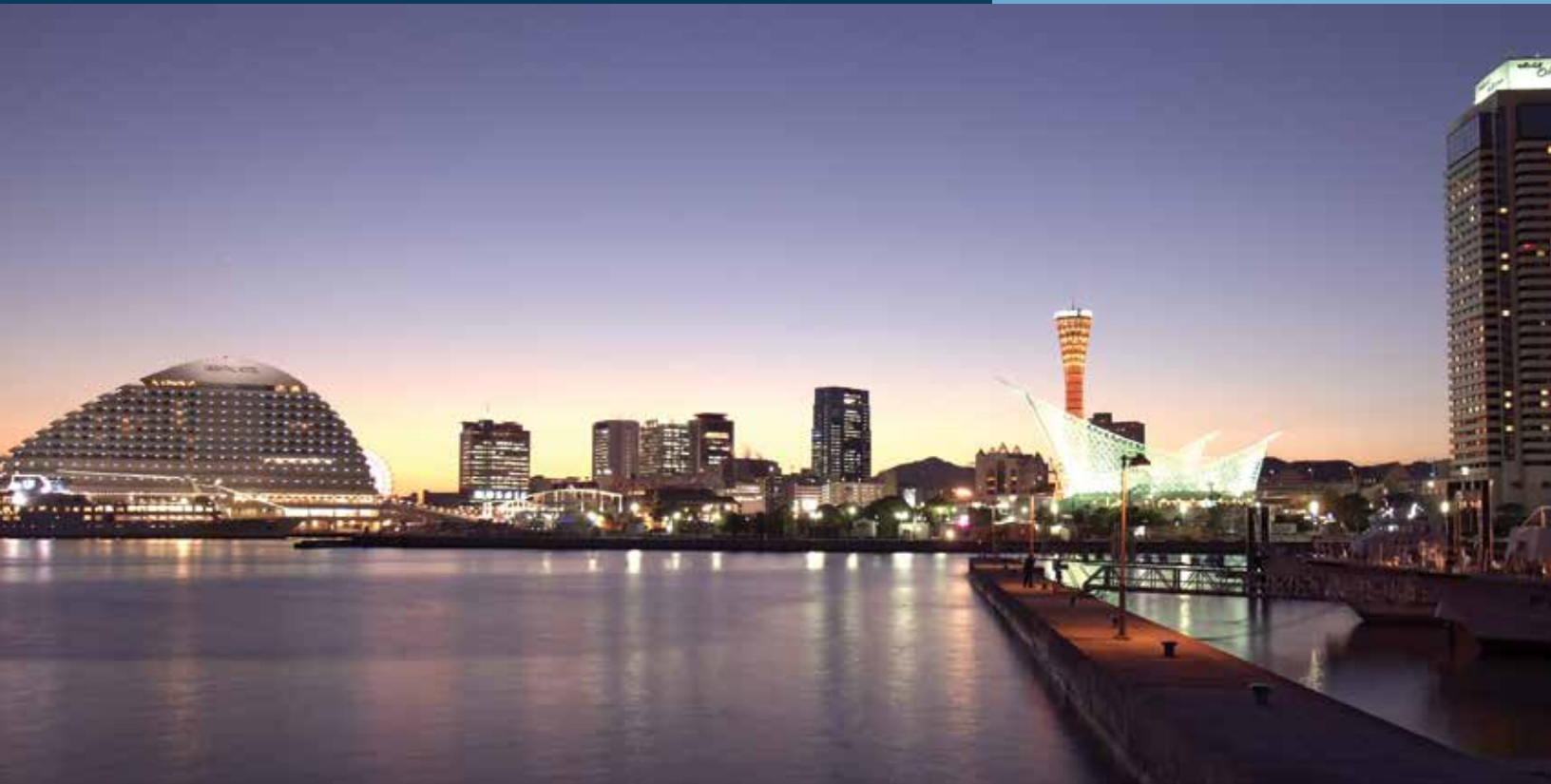
日本政府も、情報交換やポリシーの討論に参加しました。

ICANN が発足した当時、理事会では 15 議席のうち 10 議席しか埋まっていなかった。加藤さんはアジア太平洋地域の「At-Large メンバー」から ICANN 理事に選出されました。かなりの作業負荷ですが、理事の仕事を引き受けようと思ったのはなぜですか？

当時の雇用主であった富士通が、幅広い支持と私の仕事に対する理解を示してくれました。感謝しています。富士通の支援がなければ、ICANN での多数の会議に参加したり ICANN 関連の作業に時間を費やしたりすることは不可能でした。また、東京との時差の関係で、夜間や週末に仕事をすることが多くなりました。妻と家族の温かい支援にも感謝しなければなりません。かなりの長時間労働に耐えられるほど、当時の私は若かったとも言えますね。今でも私はインターネットや新技術に関する複数の政策協議に参加しています。これは私の人生における趣味となっています。

どのようにしてこの地域で知られるようになったのですか？ソーシャルメディアは存在せず、また電子メールアドレスを持っていない人はほとんどいませんでした。アジア太平洋地域から選出された ICANN 理事が重要だったのは、どのような理由からですか？

私は、法律評論や新聞のコラムなどを多く執筆していました。それらは、新しいデジタル経済の導入について、また関連技術を採用することおよび関連の法律や規制を近代化することの重要性について説くものでした。私は D.C. と日本を頻繁に行き来していました。そして機会があれば必ず、日本で業界グループの会議に参加して企業幹部とポリシー立案者に会いました。ICANN/ 国連で定義さ



れている五つの地域の中で、APAC（アジア太平洋地域）は最も広く、非常に多くの国と人口をカバーしています。そうしたAPACから他の地域で行われるポリシー検討に参加することは不可欠でした。また、私は異なる地域間の橋渡し役になろうと努めました。

日本でもアジアでも、ICANNは企業側から見ると少しわかりづらいという印象があるようです。ICANNが重要であること、そしてICANNへの関与がインターネットのセキュリティ、安定性、耐性/回復力にとって重要であることをより多くの方々に知ってもらうために、BCには何ができるでしょうか？

これはどの地域にも言えることですが、人々は単にインターネットを当たり前の存在としてとらえ、インターネットのセキュリティおよび安定性をいかに保持するかについては考えが及ばない傾向にあります。企業は最大のインターネットユーザーおよび受益者を構成している集団のひとつです。ICANNの課題検討に参加することの重要性について、企業に気づいてもらう必要があります。IoT（モノのインターネット）、AI、ブロックチェーンといった新技術の時代である今、インターネットとICANNの課題は、ビジネスチャンス発掘の鍵となります。企業への継続的なアウトリーチが必要です。

ICANN神戸会議の機会を活用し、BCは地元の経済界とのつながりを模索しています。将来にわたっても、私たちはそのような努力を続ける必要があります。

ICANNとBCは、いかにして認知度を高め、また特に日本をはじめとするアジアの企業にどのように関わっていくべきでしょう。アドバイスをいただけますか？

ICANNの課題がビジネスコミュニティおよびインターネットの一般ユーザーになぜ関連しているのか、分かりやすい英語（または日本語）で説明する必要があります。ICANNは非常に技術的な専門用語や概念を使用することがありますが、DNSや技術的な側面をすべて説明する必要はありません。また、IoTやビッグデータなどの新技術の例を用いて、ICANNの課題がそれらとどのように関連しているかを説明すると良いと思います。ビジネスチャンスへの潜在的な影響を説明することによって、企業関係者はICANNの重要性をより深く理解するでしょう。

加藤さんは日本でのインターネットガバナンスフォーラム（IGF）活動やアジア太平洋地域のIGFにも積極的に参加しています。ICANNの認知度をより高める上で、BCが国内のIGFと連携することは有効だと考えますか？

国内および地域のIGF（NRI）があるのは、地域の課題とグローバルな課題の調整について議論するためです。IGFはインターネットに関する非常に幅広い政策課題を扱っており、IGFとICANNの両方に共通の課題も数多く議論されています。日本からは、政府を含む多くのICANN参加者がIGFに参加しています。ICANNに特化したローカルグループは存在しません。このため、NRIに関与することは、ICANNの認知度を高めるための非常に生産的な方法であると私は考えています。

Marilyn Cade、おわりに：

加藤さんからICANNの初期における日本の関わりについてお話を伺い、ちょうど1年前に20周年を迎えたICANNとBCが今日本に戻るのには非常に意義深いことだとよくわかりました。BCは日本に戻ってきたことを嬉しく思っています。加藤さんに企業の立場で継続して関わっていただき、感謝しています。



Marilyn Cade
BC アウトリーチ委員長



BC メンバーシップの メリット

ビジネス部会 (BC) は、ICANN (Internet Corporation for Assigned Names and Numbers) 内で商用インターネットユーザーの声を代表しています。ビジネスユーザーにとっては、安定した安全なインターネットと e コマース体験が重要です。これらは、世界レベルでユーザーやお客様にサービスを提供する基礎となるものです。ICANN と BC に参加することで、貴社がビジネス界を代表してより良い変化をもたらすことが可能になります。

BC メンバーの貢献：

- BC メーリングリストに参加して課題を知り、議論する
- 電話会議に参加して重要な課題についてコンセンサスを形成する
- ICANN のグローバルな会議に合わせて物理的会議を開催し、参加する
- 特定の話題についてイシューマネージャーを任命する
- 他の GNSO 部会との間で情報の橋渡しをする

BC の使命：

BC は、インターネットのビジネスユーザーコミュニティの意見を代表しています。

ICANN の立場は、消費者の信頼を高めつつ、安定した安全で信頼できるインターネットでのビジネスを発展させる、という BC の基本的考え方と一致しています。

この立場は、サプライヤーとユーザーに共通した議論の場に幅広い利害関係者が参加することで確立しています。

BC 執行委員会



議長
Claudia Selli



ポリシー調整担当
副議長
Steve Del Bianco



財務・業務担当副議長
Jimson Olufuye



CSG 代表
Barbara Wanner



GNSO 評議委員
Marie Pattullo



GNSO 評議委員
Scott McCormick

指名委員会 (NOMCOM メンバー)



大企業議席
Paul Mitchell



小企業議席
Lawrence
Olawale-Roberts

BC 資格審査委員会：

Andrew Mack (委員長)、John Berard、Arinola Akinyemi、Adetola Sogbesan、Lawrence Olawale-Roberts

BC 財務小委員会：

Jimson Olufuye (委員長)、Marilyn Cade、Chris Chaplow、Arinola Akinyemi、Tim Smith

アウトリーチ委員会：

Marilyn Cade (委員長)、Andrew Mack、Gabriela Szlak、Lawrence Olawale-Roberts、Omar Mansoor Ansari、Adetola Sogbesan、Arinola Akinyemi



BC 事務局：
Chantelle
Doerksen

BC への加入につきましては、BC 事務局までお問合せください：

info-bc@icann.org

以下の Web サイトからオンライン加入も可能です：

www.bizconst.org

Twitter: @BizConstituency